【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公表番号】特表2002-528412(P2002-528412A)
【公表日】平成14年9月3日(2002.9.3)
【出願番号】特願2000-578001(P2000-578001)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/12　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/05　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/343　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/40　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/713　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 3/06　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 3/10　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　 9/12
Ａ６１Ｋ　31/05
Ａ６１Ｋ　31/343
Ａ６１Ｋ　31/40
Ａ６１Ｋ　31/713
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｐ　 3/06
Ａ６１Ｐ　 3/10
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　13/00
Ａ６１Ｐ　31/12
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　43/00　　１０５

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月27日(2006.10.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　ＥＲからのタンパク質の放出を可能にする作用物質を含有する病気又は臨床症状を治療するための薬剤。
【請求項２】　病気又は臨床症状が、少なくとも一部ミスアセンブルド又はミスフォルディドタンパク質の小胞体に関連した保持又は分解の結果である請求項１の薬剤。

【請求項３】　作用物質が小胞体からのミスアセンブルド又はミスフォルディドタンパク質の放出を可能にする請求項１の薬剤。
【請求項４】　タンパク質が糖タンパク質である請求項１の薬剤。
【請求項５】　病気又は臨床症状をのう胞性繊維症、慢性閉塞性肺疾患、発作性夜間ヘモグロビン尿症、家族性高コレステロール血症、テイ－サックス病、ウイスル病、腫瘍性病、遺伝性ミエロペルオキシダーゼ欠損症及び先天性インシュリン抵抗性からなる群より選ぶ請求項１の薬剤。
【請求項６】　作用物質がカルシウムポンプ阻害因子である請求項１の薬剤。
【請求項７】　作用物質がＵＤＰグルコース：糖タンパク質グリコシルトランスフェラーゼの機能的活性を低減させる又は抑制する請求項１の薬剤。
【請求項８】　作用物質が小胞体Ca^{++}　ＡＴＰａｓｅの活性を低減させる又は抑制する請求項１の薬剤。
【請求項９】　作用物質が小胞体中のCa^{++}の濃度を下げる請求項１の薬剤。
【請求項１０】　作用物質が小胞体からCa^{++}の放出を引き起こす請求項１の薬剤。
【請求項１１】　作用物質がIP_3レセプター活性を低減させる又は抑制する請求項１の薬剤。
【請求項１２】　作用物質がカルネキシン機能的活性を低減させる又は抑制する請求項１の薬剤。
【請求項１３】　作用物質をサプシガルギン又はその誘導体、シクロピアゾン酸又はその誘導体、ＤＢＨＱ又はその誘導体、及びハロタン又はその誘導体からなる群より選ぶ請求項１の薬剤。
【請求項１４】　作用物質がＵＤＰグルコース：糖タンパク質グリコシルトランスフェラーゼ、カルネキシン及びCa^{++}　ＡＴＰａｓｅからなる群より選ぶタンパク質にアンチセンスであるオリゴヌクレオチドである請求項１の薬剤。
【請求項１５】　作用物質を肺系に投与する請求項１の薬剤。
【請求項１６】　作用物質がエーロゾルとして投与される請求項１の薬剤。
【請求項１７】　下記の工程：
ａ）．小胞体中のミスアセンブルド又はミスフォルディド糖タンパク質の細胞内保持を示す細胞を候補化合物によって処理し：及び
ｂ）．小胞体からミスアセンブルド又はミスフォルディドタンパク質が放出するか否かを求め、それにより小胞体から候補化合物を奇形のミスアセンブルド又はミスフォルディド糖タンパク質の放出を引き起こす作用物質として識別する
を含む、ミスアセンブルド又はミスフォルディド糖タンパク質の小胞体に関連した保持又は分解を抑制する作用物質を識別するための候補化合物を選別する方法。
【請求項１８】　下記の工程：
ａ）．小胞体中のミスアセンブルド又はミスフォルディド糖タンパク質の細胞内保持を示す細胞を候補化合物によって処理し：及び
ｂ）．小胞体からミスアセンブルド又はミスフォルディド糖タンパク質が放出するか否かを求め、それにより候補化合物を小胞体からミスアセンブルド又はミスフォルディド糖タンパク質の放出を引き起こす作用物質として識別する
を含む、ＵＤＰグルコース：糖タンパク質グリコシルトランスフェラーゼの機能的活性を抑制する作用物質を識別するための候補化合物を選別する方法。
【請求項１９】　サプシガルギン、ＤＢＨＱ又はシクロピアゾン酸のエーロゾル配合物を含む請求項１記載の薬剤。
【請求項２０】　ＵＤＰグルコースの活性を低減させる又は抑制する作用物質、小胞体Ca^{++}　ＡＴＰａｓｅの活性を低減させる又は抑制する作用物質、IP_3レセプター活性を低減させる又は抑制する作用物質、及びカルネキシン機能的活性を低減させる又は抑制する作用物質からなる群より選ぶ作用物質を二種又はそれ以上含む請求項１記載の薬剤。
【請求項２１】　請求項１～１６、１９及び２０の何れか一項に記載の薬剤を有効成

分として含有する医薬組成物。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５４】
本発明は、下記の工程：
ａ）．小胞体中のミスアセンブルド又はミスフォルディドタンパク質の細胞内保持を示す細胞を候補化合物によって処理し：及び
ｂ）．小胞体からミスアセンブルド又はミスフォルディドタンパク質が放出するか否かを求め、それにより候補化合物を小胞体から奇形のミスアセンブルド又はミスフォルディドタンパク質の放出を引き起こす作用物質として識別する
を含む、ミスアセンブルド又はミスフォルディドタンパク質の小胞体に関連した保持或は分解を抑制する作用物質を識別するための候補化合物を選別する方法を提供する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５５】
本発明は、また、下記の工程：
ａ）．小胞体中のミスアセンブルド又はミスフォルディドタンパク質の細胞内保持を示す細胞を候補化合物によって処理し：及び
ｂ）．小胞体からミスアセンブルド又はミスフォルディドタンパク質が放出するか否かを求め、それにより候補化合物を小胞体からミスアセンブルド又はミスフォルディドタンパク質の放出を引き起こす作用物質として識別する
を含む、ＵＤＰグルコース：糖タンパク質グリコシルトランスフェラーゼの機能的活性を抑制する作用物質を識別するための候補化合物を選別する方法も提供する。